

ユタカ電機製作所 第50期(H17.4.1～H18.3.31) 決算について

I. ご挨拶

第50期における一部事業見直しと資本増強により、ユタカ電機グループは財務の健全性を強化いたしました。

新たに策定した新中期計画に基づき、スイッチング電源事業、無停電電源装置事業の提案型営業を積極的に展開するとともに、新商品開発にリソースを投入し業容の拡大を図ってまいります。

お客様、お取引様各位におかれましては、今後ともご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

II. 第50期の決算および増資・減資について

1. 売上高

変圧器事業譲渡によって前年度比 4.5%減の7,959百万円となりました。

売上高・損益の状況 (百万円)

	第49期	第50期
売上高	8,332	7,959
経常利益	205	35
当期純利益	25	△1,167

△は損失を表します。

2. 経常利益

売上高減少、価格低迷により経常利益は対前期減益の35百万円となりました。

なお、営業利益は65百万円となりました。

3. 純利益

子会社のユタカ電子工業株式会社への出資金の評価減1,051百万円および財務体質健全化のため、棚卸資産整理損89百万円を特別損失として計上した結果、当期純利益は△1,167百万円となりました。

4. 増資および減資

平成18年1月31日に日本産業パートナーズ株式会社の管理運営する投資事業組合に対して総額1,200百万円の第三者割当増資を実施して新資本金は1,850百万円、資本剰余金は1,849百万円となりました。

さらに本年6月26日開催の定時株主総会において、資本準備金を1,098百万円取り崩すと同時に、資本金を1,050百万円減少(無償減資)して未処理損失2,148百万円を一掃することを決議いたしました。

6月29日付けの官報に公告を掲載するとともに個別債権者に対し催告をさせていただきます。

また子会社のユタカ電子工業株式会社に対しても本年3月1,160百万円の増資を行い、債務超過状態を解消いたしました。

本年6月の同社定時株主総会にて同額の減資を行うことを決議し、これにより未処理損失の一掃を図ります。

以上